

平成26年10月17日

国宝・重要文化財（建造物）の指定について

文化審議会（会長 みやた りょうへい 宮田 亮平）は、平成26年10月17日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに1件の建造物（新規1件）を国宝に、9件の建造物（新規9件）を重要文化財に指定することを文部科学大臣に答申しました。

この結果、近日中に行われる官報告示を経て、重要文化財（建造物）は、2,428件、4,695棟（うち国宝221件、271棟を含む。）となる予定です。

◎今回の答申における特筆すべきもの

【国宝】 とみおかせいしじょう 旧富岡製糸場 群馬県富岡市

旧富岡製糸場は、明治5年に明治政府が設立した模範的な器械製糸工場である。繰糸所、ひがしおきまゆじょ 東置繭所及びにしおきまゆじょ 西置繭所の3棟は、もっこつれん が ぞう 木骨煉瓦造によるけたゆき 桁行100メートルを超える雄大な建造物で、工場の中核として、我が国の器械製糸工場建物の範となった。

明治政府の産業近代化の政策を端的に物語り、世界の絹文化の発展に大きく貢献した我が国の絹産業の拠点施設であり、文化史的に深い意義がある。

【重要文化財】 なごやしちようしゃ 名古屋市庁舎、あいちけんちようしゃ 愛知県庁舎 愛知県名古屋市

名古屋市庁舎と愛知県庁舎は、名古屋城旧三之丸の東に並んで建つ。昭和8年の名古屋市庁舎は、当時の市庁舎として突出した規模を誇り、正面には高塔をそび 聳えさせ、特産のタイルを駆使して内外に独創的な意匠を見せる。昭和13年の愛知県庁舎は、名古屋城大天守を思わせるいりも やづくり 入母屋造屋根を載せ、当時の建築思潮である「日本趣味」の到達点の姿を示している。いずれも昭和前期の庁舎建築を代表するものとして、価値が高い。

【国宝 新指定の部】

① 産業近代化の根幹となった絹産業の拠点施設（近代／産業・交通・土木）

旧富岡製糸場 3棟

繰糸所，東置繭所，西置繭所

群馬県富岡市

富岡市

旧富岡製糸場は、明治政府が設立した模範的な器械製糸工場である。フランス人の生糸検査人ブリュナの企画指導のもと、横須賀造船所の技師バスティアンが図面を作成し、施工は日本人があたり、明治5年10月4日に操業を開始した。3棟はいずれも木造の軸組に壁を煉瓦積とした木骨煉瓦造である。

繰糸所は敷地の中心に位置する繰糸を行う建物で、桁行が140メートルと長大である。キングポストトラスの小屋組や高い天井、鉄製ガラス窓で明るい大空間を実現している。

東西の置繭所は、繰糸所と直交方向に建つ桁行104メートル、二階建、ほぼ同形の建物である。繭を乾燥、貯蔵し、乾燥のために多数の窓を持つ。東置繭所は入口正面の建物でアーチの要石に「明治五年」の銘を刻む。

旧富岡製糸場は、明治政府が推進した産業近代化の政策を端的に物語る官営の器械製糸工場で、繰糸所と東西の置繭所は、我が国の製糸工場建築の模範となった。

極東地域において、西洋、特にフランスの技術を導入し、日本固有の技術と融合させることで産業革命を成し遂げ、世界の絹文化の発展に大きく貢献した我が国の絹産業の拠点施設であり、文化史的に深い意義を有している。



提供：群馬県

【重要文化財 新指定の部】

① 東北地方で希少な桃山期の本殿建築（近世以前／神社）

都々古別神社本殿 1棟

福島県東白川郡棚倉町

都々古別神社

都々古別神社は、陸奥一宮として崇敬されてきた古社である。

本殿は文禄3年（1594）に佐竹義宣が造営したとみられる。もとは棚倉城の地にあったが、寛永2年（1625）に現在地へ移された。



撮影：小野吉彦

形式は本格的な三間社流造であるが、組物を出三斗とし、彫刻を用いないなど、簡素な作りとする。反りのある垂木、庇に架けた水平に近い梁などが中世的な要素である。

都々古別神社本殿は、東北地方において数少ない桃山期の本殿建築として、高い価値を有している。細部や技法には中世的な要素が残っており、中世から近世への転換期における様式や技法を知る上で、貴重な存在である。

○指定基準＝学術的価値の高いもの

② 建築史家・伊東忠太による近代寺院建築の傑作（近代／宗教）

築地本願寺本堂 1棟

東京都中央区

築地本願寺

築地本願寺は、浄土真宗本願寺派の関東における拠点である。現在の本堂は、関東大震災の後昭和9年に再建されたもので、設計は東京帝国大学名誉教授で建築史家の伊東忠太による。



鉄筋コンクリート造であるが、石造風の外観は、インドの古代仏教建築に学んだ細部や要素を巧みに組み合わせている。中央部二階の大本堂は伝統的な真宗本堂の形式を踏襲し、両翼部や一階には議場や説教所、事務室や納骨堂などの諸室を配している。

築地本願寺本堂は、インドの古代仏教建築を主たる素材として外観を構成し、内部は日本の伝統的意匠要素を中心に濃密で均整のとれた意匠を達成している。必要な諸機能をひとつにまとめ、最新式の設備を備えるなど近代の設計技術を集合しており、独自の建築様式を追求した伊東忠太による寺院建築の傑作として、価値が高い。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの、技術的に優秀なもの

③ 日本酒醸造の近代化に貢献した唯一の国立研究施設（近代／産業・交通・土木）

旧醸造試験所第一工場 1棟

東京都北区

独立行政法人酒類総合研究所

醸造試験所は、日本酒の研究を行って醸造技術と品質の向上を図るため、明治政府が設立した研究施設である。第一工場は中核施設の大規模な煉瓦造建造物で、明治37年に竣工した。設計は大蔵技師の妻木頼黄である。



提供：独立行政法人酒類総合研究所

断熱のため厚い壁体に空気層を設けた中空壁とし、天井はヴォールト天井、二階床は鉄骨梁に煉瓦ヴォールトを架けるなど、高い建築技術が用いられている。

旧醸造試験所第一工場は、妻木頼黄がドイツのビール醸造施設を応用して設計した煉瓦造工場建築である。当時最新鋭の設備を備えた日本酒醸造施設として、また大規模な複合煉瓦造建築物としても技術的に高い価値がある。醸造に関する唯一の国立研究機関の施設として、日本酒造りの近代化と酒類産業の発展に貢献しており、歴史的価値が高い。

○指定基準＝技術的に優秀なもの、歴史的価値の高いもの

④ 突出した規模を持つ昭和初期の記念的市庁舎（近代／官公庁舎）

名古屋市庁舎 1棟

愛知県名古屋市

名古屋市

名古屋市庁舎は、名古屋城の旧三之丸に位置する。現在の建物は昭和8年に新築されたものである。建設にあたって設計競技が実施され、金賞となった平林金吾の案をもとに、名古屋市土木部建築課が実施設計を行った。



提供：名古屋市

鉄骨鉄筋コンクリート造、地上五階地下一階建で、正面中央には高塔を聳えさせる。外観はタイルやテラコッタで飾り、車寄せやパラペット頂部、塔屋は瓦屋根風の意匠とする。各階の正面に配置された正庁や貴賓室、議場は伝統的な意匠を巧みに織り交ぜた格調高い意匠になる。

名古屋市庁舎は、当時の市庁舎として突出した規模を誇る。特産のタイルを駆使した壁面で独創的な意匠を創り出し、西洋的な建築様式に日本的な要素を取り入れて内外に優れた造形美を示している。昭和初期の記念的庁舎建築として、高い価値がある。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの

⑤ 天守風の屋根を載せた「日本趣味」の県庁舎（近代／官公庁舎）

愛知県庁舎 1棟

愛知県名古屋市

愛知県

愛知県庁舎は、名古屋市庁舎の南隣に並んで建っている。現在の建物は昭和13年に竣工したもので、渡辺仁と西村好時が基本設計を行い、愛知県内務部営繕課が実施設計を行った。

鉄骨鉄筋コンクリート造，地上六階地下一階，一部七階建である。両側の南と北には自動車庫を配置している。外観は異なるタイル張による三層構成で，三方の中央に名古屋城大天守を思わせる破風付の入母屋造屋根を載せる。

愛知県庁舎は，西洋的な様式と城郭天守の意匠を融合させて地域色を現し，昭和前期の建築思潮で課題となっていた「日本趣味」の表現を達成しており，秀逸な意匠と高い歴史的価値を有している。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの，歴史的価値の高いもの



提供：愛知県

⑥ 園城寺の室町再興期の様相を示す本殿建築（近世以前／神社）

三尾神社本殿 1棟

滋賀県大津市

三尾神社

三尾神社は，古くは園城寺南院の鎮守社で，同寺境内の南西側に所在していた。明治初期の神仏分離に伴い，境内の外側に移転し，三尾神社として独立した。

本殿は応永33年（1426）に建立された。三間社流造の形式で，屋根は檜皮葺とする。全体に装飾を抑えた簡素な意匠であるが，木太い軸部構成，舟肘木の曲線形状，反りの強い垂木などに，中世建築の特徴がよくあらわれている。

三尾神社本殿は，室町中期に遡る年代が明らかな三間社流造本殿である。木太い軸部や簡素な意匠による古風かつ雄大な形態であり，我が国の神社建築の展開を理解する上で，高い価値を有している。同じ鎮守社の新羅善神堂と親近性が強く，園城寺の室町再興期の様相を示す建築としても重要である。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの



提供：滋賀県教育委員会

⑦ 近代の合理性や感性で高度に完成された和風建築の優品（近代／宗教）

長谷寺本坊 8棟

大講堂、大玄関及び庫裏、奥書院、小書院、
護摩堂、唐門及び回廊、中雀門、土蔵

奈良県桜井市

長谷寺

長谷寺本坊は、国宝本堂と谷を挟んで相対する南の高台に位置する。本坊の創建は天正16年（1588）とみられ、近世を通じて伽藍が整えられていたが、明治44年に焼失した。

現在の建築群は、大正8年から13年に再建さ

れたものである。文化財の保存修理に携わっていた奈良県技師である天沼俊一、阪谷良之進、岸熊吉が派遣され、設計と工事監督を担当した。

長谷寺本坊の建築群は、焼失前の構成や形式を部分的に継承しながらも、配置や平面の計画、空間構成の要所に近代らしい合理性が導入されている。文化財保存を通じて熟知した様式をもとに近代の感性で創出された意匠や造形は優秀であり、高度に完成された近代和風建築として高い価値がある。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの



提供：奈良文化財研究所

⑧ 今なお開閉する現存最古の道路可動橋（近代／産業・交通・土木）

長浜大橋 1基

愛媛県大洲市

愛媛県，大洲市

長浜大橋は、愛媛県西部の肱川の河口部に架かる河川交通に配慮した道路可動橋である。愛媛県を事業主体として、増田淳事務所の設計により、昭和10年に竣工した。長さ232メートルの鋼橋で、中央右岸寄りの可動部と左右の五連の鋼製ポニーワーレントラス桁からなる。可動部は、桁が片側に90度回転する形式である。



提供：大洲市教育委員会

長浜大橋は、現存最古の道路可動橋で、かつ建設当初から開閉機能を保持し続けている。米国で習得した設計技術を駆使して可動橋を数多く手掛けた増田淳が設計し、先端的な工法を用いて架設された大規模な単葉式跳開橋であり、橋梁技術史上、価値が高い。

○指定基準＝技術的に優秀なもの、歴史的価値の高いもの

⑨ 武家住宅の形式を継承している分棟型^{ぶんとうがた}の近代住居（近代／住居）

旧増田家住宅^{ますだけじゅうたく} 4棟

おもて、なかえ、石蔵^{いしぐら}、浴室便所^{よくしつべんじょ}

鹿児島県薩摩川内市

薩摩川内市

旧増田家住宅は、鹿児島県北西部に位置する旧武家町^{いりきふもと}、入来麓^{いりきふもと}伝統的建造物群保存地区に所在する。屋敷は、明治6年頃に建てられたおもてとなかえ、大正7年の石蔵、大正期につくられた浴室便所で構成されている。



提供：薩摩川内市

主屋は、トコのあるザシキのあるおもてと、土間とダイドコロのあるなかえを連結した伝統的な分棟型形式である。おもてとなかえは大きさや位置をほぼ揃えており、この点が近世の武家住宅にみられるかたちと異なっている。

旧増田家住宅は、近世の武家住宅の形式を継承しながらも、平面構成や規模の変化が近代への移行を示唆している点で価値が高い。大正期までに整えられた屋敷構えも含め、入来麓^{いりきふもと}伝統的建造物群保存地区を代表する近代住居として深い意義がある。

○指定基準＝流派的又は地方的特色において顕著なもの

〈個別解説凡例〉

番号 特 徴 (年代区分／種類別)

名 称 員 数

複数棟指定の場合の建造物の名称, 土地* 等

所 在 地

所 有 者

〈国宝・重要文化財の指定件数〉

(* 建造物と一体をなして価値を形成している土地をあわせて指定するもの。)

平成 26 年 10 月 答 申

(国 宝)

	種 類 別	現在指定数		新規指定		合計	
		件数	棟数	件数	棟数	件数	棟数
近世以前の分類	神 社	39	65			39	65
	寺 院	155	163			155	163
	城 郭	8	16			8	16
	住 宅	14	20			14	20
	民 家	0	0			0	0
	そ の 他	3	3			3	3
	小 計	219	267	0	0	219	267
近代の分類	宗 教	0	0			0	0
	住 居	1	1			1	1
	学 校	0	0			0	0
	文 化 施 設	0	0			0	0
	官 公 庁 舎	0	0			0	0
	商 業 ・ 業 務	0	0			0	0
	産 業 ・ 交 通 ・ 土 木	0	0	1	3	1	3
そ の 他	0	0			0	0	
	小 計	1	1			2	4
合 計		220	268	1	3	221	271

(重 要 文 化 財)

	種 類 別	現在指定数		新規指定		合計	
		件数	棟数	件数	棟数	件数	棟数
近世以前の分類	神 社	567	1,201	2	2	569	1,203
	寺 院	855	1,169			855	1,169
	城 郭	53	235			53	235
	住 宅	95	153			95	153
	民 家	351	847			351	847
	そ の 他	193	261			193	261
	小 計	2,114	3,866	2	2	2,116	3,868
近代の分類	宗 教	25	32	2	9	27	41
	住 居	84	322	1	4	85	326
	学 校	41	80			41	80
	文 化 施 設	35	60			35	60
	官 公 庁 舎	23	28	2	2	25	30
	商 業 ・ 業 務	21	28			21	28
	産 業 ・ 交 通 ・ 土 木	71	243	2	2	73	245
そ の 他	5	17			5	17	
	小 計	305	810	7	17	312	827
合 計		2,419	4,676	9	19	2,428	4,695